

歯科・口腔外科、口腔がんセンターで手術を行った患者様へ

当院は、医療機関としてだけでなく、医・歯学を始めとする医療に関する教育機関、研究期間としての役割を有しております。個人情報の取り扱いに関し、以下ご理解ご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

臨床研究

診療の中で、得られた検査や、症例情報を、治療方法や薬剤等の効果を分析研究し、今後の治療に対し、有益、重要な情報と判断した場合には、学会・論文等において発表することがあります。発表するにあたっては、患者様が特定されないよう、匿名化する等、患者様の個人情報、プライバシーには細心の注意をはらいます。個人情報の保護に関する法律に従い、基本的には本揭示（明示）により同意があるものとして対応致しますが、使用目的に同意しがたいものがある場合はその旨申し出下さい。（なお、このお申し出は、その後変更することが可能です。）また、本研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会において、科学性と倫理性を審査され承認されたものです。ご不明な点等ございましたらご遠慮なくご質問下さい。

当研究の意義、目的、方法

課題名

「口腔外科領域におけるポリグリコール酸シート及びフィブリン糊スプレートの臨床統計」

粘膜切除後の創部に対して単純縫縮（縫い合わせて創を閉じる）が主流でしたが、ポリグリコール酸シート（人工被覆材）をフィブリン糊（人工糊）で被覆した症例が報告されております。本法は操作性に優れており止血、疼痛予防効果、機能障害が少ない等の有用性が期待されています。当科においても2010年より頭頸部領域の粘膜欠損部に対して使用しておりますが単純縫縮との適応選択基準がないのが現状です。そこで過去当院において粘膜切除後に対してポリグリコール酸シート及びフィブリン糊スプレーを使用した患者様と縫縮した患者様の診療記録を後ろ向きに調査し、単純縫縮をPGAシートの臨床的特徴と適応基準を検討致します。

お問い合わせ先・研究代表連絡先

東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座

東京歯科大学口腔がんセンター

[TEL:047-322-0151](tel:047-322-0151)(代表) 市島 丈裕助教